

# どうなる 複合施設

# 規模も事業費も膨れあがる 荒川2丁目・複合施設基本設計

日本共産党荒川区議会議員団

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

488

2012年12月 2日

発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax 3806-9246

✉ arajcp@tcn-cat

v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。



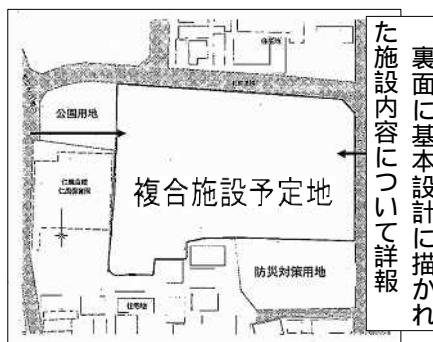
区議会に、荒川2丁目に建設予定の大規模複合施設の基本設計が報告されました。  
5階建、50万冊所蔵の図書館。用地費・建設費と図書・備品で合計約80億円にのぼる計画です。2014年度から建設工事開始、2016年度後半に開設する予定となっています。多額の予算を見込むだけ図書館のあり方、規模など見直しを求めてきました。報告では、土地を買い増し、床面積も1万㎡から1

## 荒川2丁目 複合施設の概要(基本設計)

- (1)所在地:荒川区荒川二丁目50番1号他
- (2)敷地面積:約4,100㎡(当初約3,800㎡)
- (3)建ぺい率:90%(角地特例) 容積率:300%
- (4)建物概要
  - 延床面積:約11,000㎡(当初約10,000㎡)
  - 構造・階数:鉄筋コンクリート構造、地上5階・地下1階
  - 駐車場:14台(障害者用2台、サービス車両用3台、一般用9台)
  - 駐輪場:400台程度
  - 3機能(図書館、吉村昭記念文学館、こども施設)を有機的に融合させる施設
  - ・利用者数の想定:3,000人~4,000人/日
  - ・蔵書予定数:開架蔵書約270,000冊、閉架書庫約300,000冊
  - 総事業費 80億円(当初約50億円)

万1千㎡に拡大。1階左手入口から入ると1・2階が幼児・児童図書と遊びスペース、絵本・児童図書が6万冊。親子の飲食コーナーはカフェがあります。2・3階の一部が作家の吉村昭さんの展示・資料収蔵にかなりのスペース確保。1階2階吹き抜けのホールは130席で壁可動式です。図書館の総合カウンターはエスカレーターかエレベーター

で3階に。3・4階には大人向けの図書。1から5階が吹抜けとなっています。さてみなさんのご意見は...



裏面に基本設計に描かれた施設内容について詳細



今年の年末は、12月16日投票で、東京都知事選挙そして衆議院選挙が行われます。原発ゼロ、消費税増税中止、内需を暖めデフレ不況からの脱却...などなど未来のかかった大事な選挙です。とはいえ、年末は「師も走る」師走。何かと気ぜわしい季節です。寒さもきびしくなり、懐具合やご商売もかなりきびしい状況が続いているのではないのでしょうか。選挙でも争点になるでしょうが、



消費増税で景気がどうなるか? もはや明らかです。暮らして経済の大変さに追い打ちをかけ、壊してしまいます。同時に、この年末少しでも元気に乗り越えたいものです。町にはクリスマススの飾りも出てきたことだし... 横山幸次

年末にむけ町は都知事選、衆院選...  
しかし町の風景は少しずついつもの師走の準備

裏面 荒川2丁目複合施設の概要など...

## 定例法律相談会

12月3日(月)

午後6時~8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

荒川区内の消費電力					単位Kw時	
	年間	増減	夏期7月~9月	増減	備考	
2010年度	9億4313万2千		2億7582万8千		100% 大震災前	
2011年度	8億4262万9千	10050	2億2514万6千	5068	81.6% 大震災後	
2012年度	-	-	2億2749万9千	4832	82.5%	

# 原発ゼロでも やっていける

## 区内の夏季消費電力 震災後2割減…!!



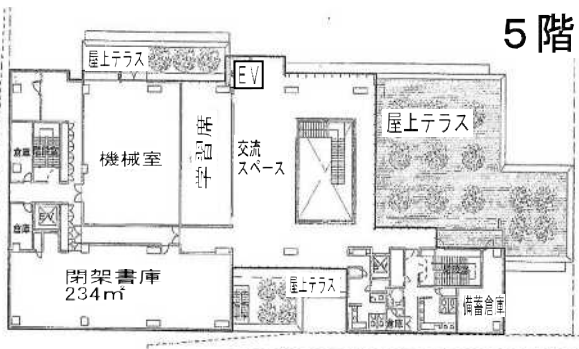
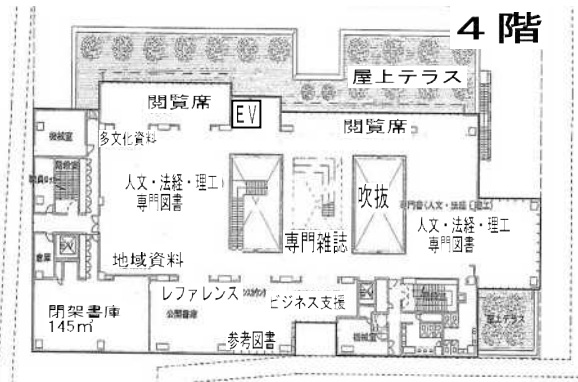
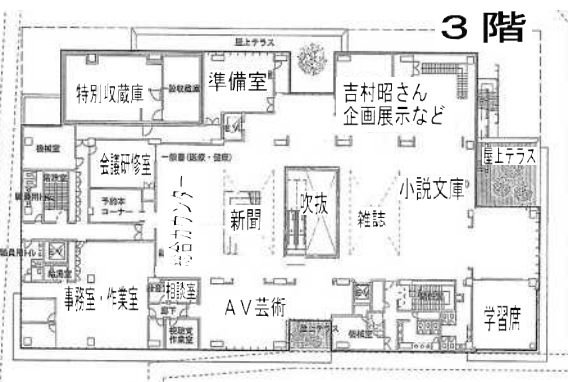
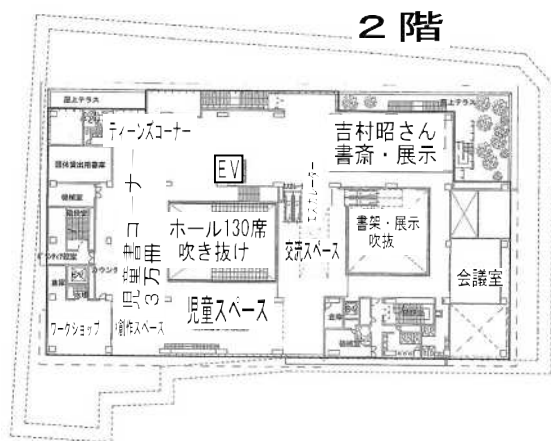
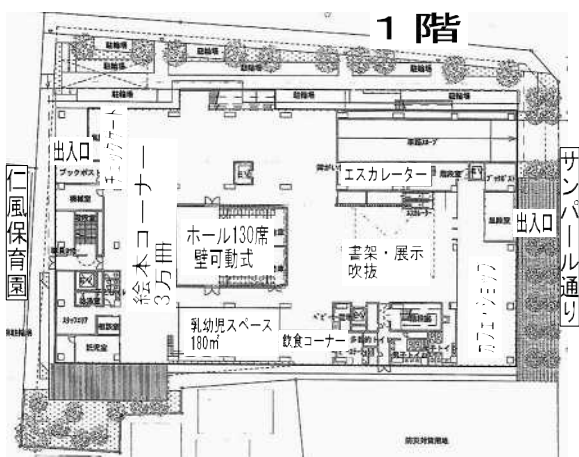
夏場の節電結果などが委員会に報告されました。荒川区内の消費電力については、東京電力からなかなか説明がありませんでしたが、やっとな情報提供されたようです。

震災前の一昨年2010年7月〜9月の半年間の消費電力は約2億7500万Kw/hから大震災後には、約5千Kw/h、2割減少した。年間では約1割減。公共施設や事業者、家庭での節電がいき渡ったのでしょうか。

区民も福島原発事故以来、エコに心がける暮らしが広がってきた気がします。また、不況のなかで製造業や商業の思わしくないことも影響しているかも知れません。自然エネルギーへの転換で新しい産業の道も区内で広げるための努力も必要になっています。

大量生産、大量消費・24時間365日の営業・長時間労働：新しい暮らし方、働き方なども問われています。

## 図書館・吉村昭文学記念館・児童施設の複合施設概要



図書館規模は、一般蔵書50万冊です。既存の地域館（町屋、尾久、日暮里、南千住）は今後どうなるのでしょうか。吉村昭さんの展示規模・配置はこれでよいのでしょうか。何よりも当初計画よりわずか1年間余りで床面積も増え、総事業費も50億円から80億円に膨れあがっています。…などなど。あらためて、図書館のあり方など区民の声も聞き、見直すべき機能について精査すべき時です。みなさんのご意見をお寄せください。